

## 7月定例教育委員会会議録

1、開会年月日 令和5年7月27日（木）

2、閉会年月日 令和5年7月27日（木）

3、出席委員氏名

吉田 義和          西田 伊作          西畑 敦司

末浪 真希

4、委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

事 務 局 長                      奥 村 紀 一

教 育 次 長                      山 口 忠 幸

教 育 総 務 課 長                石 原 康 司

ま な び 推 進 課 長              藪 内 善 史

文 化 財 課 長                    今 里 美 恵 子

教 育 総 合 セ ン タ ー 所 長      綿 谷 圭 介

図 書 館 長                        高 橋 樹 一 郎

市 民 総 活 躍 推 進 課            小 山 和 也

こ ど も 未 来 課 長                河 合 宏 明

5、会議に付した議案の件名

日程第1 教育長報告

日程第2 議題

第20号 天理市公民館運営審議会委員の委嘱について（案）

6、会議の経過議題

開会 午後 3時00分

終了 午後 3時37分

## 1 教育長

ただいまから、7月の定例教育委員会を開会いたします。

本日の署名委員は西畑委員と西田委員にお願いします。

それでは、日程第1教育長報告ですが、まずは7月19日から21日までの3日間、大韓民国の瑞山市に、グローバル人材育成のための国際交流事業の業務締結調印式のために訪問した状況を、共に韓国へ行ったまなび推進課の藪内課長から報告をしてもらいます。

### 1 まなび推進課長

それでは、瑞山市との中学生国際交流の調印式と中学校訪問を、7月19日水曜日から21日金曜日まで、教育長・市長と同行させていただきましたので、ご報告させていただきます。

19日の朝こちらを出発しまして、関西国際空港から瑞山市、仁川空港へ行きまして、仁川空港から約2時間、午後5時前後に先方の瑞山市役所に到着しました。そのときに、先方の市長はじめ出迎えをいただいた次第でございます。このように、天理市訪問団という形で歓迎していただいているような状況でございます。

この後すぐに市長、教育長が、瑞山の市長、副市長、教育長と対談をされておるような状況でございます。ここで様々なお話をされておられました。また詳しいところは、教育長からお話しいただければなと思います。

この後、別室に移りまして、それぞれ市長と教育長のご挨拶がありまして、締結式が行われました。グローバル人材育成のための国際交流事業という形になりますので、今年度の10月から始まり、これから数年間、瑞山市と交流をしていくという形になりますので、よろし

くお願いいたします。

この後植樹祭がありまして、瑞山市役所の目の前なのですが、植樹を皆さんでされました。その後に、歓迎晩さん会が別の場所で行われました。

続きまして、次の日になりますけれども、海美（へみ）中学校に行きまして、学校見学をさせていただきました。全てグラウンドに人工芝が敷かれています、サッカーの試合ができるぐらいの大きさの人工芝のグラウンドで、非常に広くてきれいでした。

その後、各部屋に入りまして、向こうの海美中学校の教育課程であるとか、学校の説明等を校長先生からしていただきました。夏休みに入っていたのですが、自主的に勉強する学習会みたいなものが各部屋で行われておりまして、勉強したい子が学校へ来て勉強しているという様子で、この部屋でも五、六人の子どもたちが英語や歴史の勉強をしておりました。

次に中学校の図書室の様子を見学させていただいたのですが、日本の本も図書室に置かれているようです。図書室の中にある学習ルームなのですが、日本と違って、本当に勉強部屋、学習の教室のような形で一体になっているという図書室でした。

次に給食室ですが、給食室で給食を作られて、日本では教室に運んで教室で給食を食べるのですが、こちらは給食室の前にランチルームがありまして、生徒がここに並んで、それぞれ食事をして、食事が終わったら昼休みで学校の中で自由に散策したり休んだりという形で、全員が入りませんので、時間差で給食を取っていくという様子でした。日本との違いを、こういったところでも非常に感じたなと思

いました。

## 1 教育長

給食は全部無料でしたね。

## 1 まなび推進課長

給食費は無料で、制服も無料ということでした。

その後、海美城といいまして、瑞山市に古くからある城へ見学に行かせていただきました。

その後、開心寺というお寺に行かせていただいて、見学もさせていただきました。日本と違って、お寺の色合いも緑っぽい色を使っているようなお寺でした。そちらでは、市長と教育長が瓦の寄進をされるということで、両名署名をされました。

続きまして、瑞山市の中でも非常に有名な磨崖三尊仏の見学に行かせていただきました。一番笑顔が見られる時間帯というのが午前11時頃と言われていまして、その時間になかなか合わせるのが難しいということで、スライドで事前に見せてもらって説明を聞かせていただきました。実際に登っていきまして、実物の磨崖三尊仏ですが、日本の仏様とまたちょっと違う笑顔があり、ふっくらとされているような様子で、飛鳥時代の仏様、日本にある仏様とまた違うような様子がかがえるなと思いました。弥勒菩薩もありましたが、またこの辺も韓国の百済と日本との交流がかがえるものだなと思います。かなり古い物なのですが、この上にちょっと屋根があり、岩が前に傾いているところでうまく雨よけになったので、外にあるにもかかわらず残っていたとの説明を受けました。

この見学が終わった後、ソウルに約2時間かけて戻りまして、次の

日朝一番の飛行機で日本に帰ってきたということでございます。もし補足ありましたら、教育長お願いします。

## 1 教育長

瑞山市に行って驚いたのは、いきなり10月から500人行きますというお話でした。今年の2月に瑞山市の方が来られたときにも、これは3年や4年で終わるようなものにしたくないので、きっちり調印式をしたい、ということをおっしゃられたので、多分かなり長く続けたいのかなというので、ぼちぼち始めたらいいのかなと思っていたら、瑞山市の16校のうち10校が修学旅行に日本を希望しており、それを6回に分けて、500人も来るという話です。ただし、来るのは1日のうちの半日、6回のうち5回は午前中だけ、そして残り1回は午後ということなので、局長や教育総務課長にもアドバイスをいただいて、持続可能なものにしていこうと。もう断ることはできないので、各中学校に負担のないように、来られたら歓迎セレモニーを中学校の体育館かどこかでして、移動も含めて1時間ぐらいのライトにして、あとはなら歴史芸術文化村と天理参考館に分かれて見学をしてもらおうということになりました。

昨日、なら歴史芸術文化村の職員さんに来ていただいたら、ハングルのパンフレットを用意するし、歓迎の電子掲示もハングルでするし、ハングルのアートマップも実は用意できているということでした。天理参考館にも、昔の韓国の村の珍しい文化物が残っているので、できれば100人を半分ずつ分けられたらなと思っています。各学校には、負担を軽くして行うということで、今日のお昼にまなび推進課長を中心に、各中学校の校長とオンライン会議をしてもらっています。

ここまでで、質問はよろしいですか。

またこれを機に、先ほど教育委員さんにもお願いしていたのですが、長く続けるということは、やはり教育委員会として行うということで、いろんな教育委員会のメンバーの方に主体的に関わっていただきたいなと思っています。最初は行政中心に交流が始まったのですが、コロナで一旦中断したからこそ、今度は具体的な生徒同士の交流や地域の学校運営協議会、地域協働本部、PTA役員、そういうところに軸足を少しずつ移して行って、その人達にも歓迎のことを考えてもらうようになって行って、地域の人たちも含めてで、天理市は本当に瑞山市と友好文化都市で、どっちの国の子どもたちの未来も応援しているのだなということを実感してもらいたいので、先ほど教育委員さんにも、時間があるから覗きにきたよ、ではなくて、企画運営側として参加をお願いしますと伝えました。またこの教育委員会の課長の皆様にもそういう形で、特に文化財課や図書館は、いろんなアドバイスやご指導をいただきたいなと思っていますので、よろしくをお願いします。

ただ、第1回目は軽く行きたいと思っていますので、それを踏まえて、毎年毎年進化させていけたらいいなと思っています。

それでは、まなび推進課の報告と連絡をしてもらえますか。

## 1 まなび推進課長

まなび推進課から、報告と連絡になります。

まずタイムトラベラーですが、昨年度取組をさせていただきました。今年度も、夏休みの自由課題として、各小学校、中学校に募集をかけるところでございます。また、夏休みの前に、櫛本小学校と柳本小学校に指導主事がプレゼンに行き、公募の呼びかけをしてきました。

今年度は、天理大学の大学生も応募の呼びかけと一緒に参加していただきまして、指導主事だけではなくて、天理大学や天理大学生、また産業振興課の職員も一緒に呼びかけをさせていただきましたので、教育委員会だけの取組ではなく、みんなで取り組んでいるのだということが子どもたちにも伝わったのかなと思いますので、夏休み明けの応募がどれぐらい来るのか楽しみにしているところでございます。

#### 1 教育長

もう展示の日は決まっていますか。

#### 1 まなび推進課長

はい。展示の日は、11月の11日土曜日から約1週間程度を考慮しておるところでございます。11月11日土曜日には、タイムトラベルウォーキングというものを、なら歴史芸術文化村を起点に、なら歴史芸術文化村周辺の、天理市の歴史的なところの施設を回るイベントを計画しておるところでございます。出発地点はなら歴史芸術文化村のホールなのですが、その周辺施設を回った後のゴール地点は、タイムトラベラーの展示会場、ここをゴール地点にするというところで、今話を進めています。

#### 1 教育長

これは、なら歴史芸術文化村のウォークと、タイムトラベルウォークが合体したのですよね。

#### 1 まなび推進課長

そうです。タイムトラベラーの企画でも考えています。実は11月の下旬ぐらいにやりたいなと思っていたのですが、なら歴史芸術文化村でも同様のタイムトラベルウォーキングを考えてくれていたので、



一緒にやろうという話になって、タイアップで取組を進めています。

#### 1 文化財課長

日程はもう決まっているのですか。

#### 1 まなび推進課長

11月11日土曜日でもう決定でございます。

#### 1 文化財課長

文化財課でも、子ども向けの遺跡探検隊というのを、11月中にしようと思っていたので、被らないように気をつけさせていただきます。

#### 1 教育長

ふるさと実行委員会が、ここにブースを出したいとおっしゃっています。この前ふるさと実行委員会議があったのですが、ふるさと実行委員会も、コロナ前にやっていた、いろんな餅をついて配ったりするイベントが、コロナが明けて、やはりなかなかしんどくなってきたと。高齢化もあり、そして子どもたちの参加も少なくなってきたと。何かいい方法はないかなという話が出たので、ここに共催という形で参加されたらどうですかということで、それはいいなあということで、なら歴史芸術文化村の職員さんも、それなら調理室は空いているし、水も使えるし、そこでゴールしたときに、きな粉餅の振る舞いがあったら、雨でも中止しなくていいのではないかという話をしてくれて、これからどんどん高齢化になっていたり、子どもたちが少なくなったり、忙しくなったりするときに、行事の数を増やすのではなくて、協賛して子どもたちを集約していき、それぞれのブースでそれぞれの活動をきちんと残していけたらなと思っています。子どもたちは習いものが忙しくて、野球、塾、スイミング、サッカーで、な

かなか休みのときに来られないということがあって、この前の社会教育委員会議で、教育委員会でイベントをするときには習いものを休めと言ってくれませんかと言われたのですが、それは言えませんとお断りしましたが、少子化も含めて、あるいは働き方改革も含めて、今までやってきた事業を根本的に見直していきたい。ただ活動は残しておく。だからどんな風にコラボして、活動を残すのか。これは公民館も同じです。公民館がなくなったとしても、公民館の活動は残していく。そういうために学校と協働していくのだというように変えていかないと、肅々と同じような教育ができるとは思ってはけないということを、今各学校にも言っています。2100年には5,000万人の人口になる。明治40年、日露戦争の頃の人口になるということを見据えて、行事を変えていこうということを今あちこちの会議で言っています。今日も公民館運営審議会でその話をしていました。どうぞ見直してくれという、今までの歩みの有り様も含めて、その辺で発信していけたらなと思っています。

## 1 まなび推進課長

タイムトラベラーの取組も、11月11日から展示しまして、11月15日または16日頃まで展示をしようかなと思っています。ちょうど11月15日が、瑞山市から来る中学生の最終回の日ですので、うまく予定が合えば、タイムトラベラーの展示も見ていただけるといように考えておりますので、その辺も踏まえて展示を考えていこうと思っておりますので、よろしく願いいたします。

続きまして、「ほめて育てる事例交流会」です。市長からありまし

たように、天理市の子育て、みんなで子育てをしていく上で一番大事にしていけないといけないことは何だろうということを、教職員も含めて考えていく機会を持とうということで、先生方が持っている今までの事例を出しながら、何が大切なのかということ話し合う交流会を、8月の24日、25日に実施させていただきます。24日は午前11時から12時が1回目、午後1時半から2時半までを2回目という形で考えています。25日も同様に、午前11時から12時が1回目、午後1時半から2時半までを2回目ということで、4回枠を取らせていただいて、教職員でどれか可能な範囲で参加するようにということで、各学校に声をかけさせていただいております。各学校可能な限り参加の予定で、今進めております。事例の発表をするのは管理職、校長、教頭、または指導主事という形で予定をしております。特に良い事例ばかりではなくて、悪い事例も出してもらおうようにしておりますので、悪い事例については指導主事、教育委員会で、学校が分からないようにするためにも、教育委員会で事例の紹介をさせていただきます。その中で、何が大事にできなかったから、この事例がよくなかったのかというところも踏まえて、皆さんで意見交流しながら、2学期以降の子どもたちの向き合い方に生かしてもらえたらなと思っておりますので、よろしくお願いします。

## 1 教育長

その件に関して、なぜこれをやるかと言うと、もう学校だけで子どもたちを育てられないのです。この1学期だけでも、6件、7件保護者から、もう学校に言っても埒が明かないと言って、教育委員会に相談がありました。そのときの保護者の相談は、もう、学校に分かって

もらおうではなくて、あの先生替えてくれ、替えられないのなら転校させてくれ、というそういったクレームになってきている。確かに教師側も責任がある。それはちょっとまずいなという対応をしている。だからこそ教員の、とにかく今も管理職の面談をしているのですが、若手教員の力量不足が顕著になってきた。経験不足。そしてそれを教えるベテラン教員が疲弊している。もう学校だけで何とかできると思うのではなくて、学校の肩の荷を下ろしていかないといけない。授業に集中していかないといけない。そして公民館活動をはじめ、いろいろな団体が学校の中に入っていく複合施設を目指して、人口3万5,000人の天理市が持続可能な活動を、子育てをしていくことを目指すそのときに、いろいろな社会の地域の人が入っていったときに、こんなふうに子どもを育てましょうねという共通理解がなければ、学校に入ってきてもらったときにしんどくなる。それをしっかり学校が豊富な失敗例、成功例を発信する、プレゼンすることによって紡ぎだしていこうという、そして1年かけて、そういう方針を、学校教育の方針だけではなく、地域みんなで子育てをする方針を、忙しい家にこそ、家庭教育として、そして地域の教育として発信していけるようなものを作っていこうという、壮大な願いを上げています。そのプレゼン大会だと思っていただいて、ぜひ教育委員会に顔を出してもらっている課の皆さんも、職場でまた誘い合わせてもらって、ちょっと覗いてもらえたらなと思っています。

## 1 まなび推進課長

続きまして、8月9日に、小学校の教科書採択に関わりまして、教育委員会協議会を行います。午後1時からさせていただきます。その

後続きまして、午後4時から臨時教育委員会を行いたいと思いますので、よろしく願いいたします。

最後になります。ツーリストシップ教育を今年度も実施する予定で、事務局進めておりまして、市内の小学校3校から応募がありました。丹波市小学校、山の辺小学校、柳本小学校の3校の応募がありましたので、これにつきましても10月、または11月ぐらいに実施をしていきたいなと思っておりますので、お知りおきください。また具体的な日程が決まりましたら、ご案内させていただきます。よろしく願いします。私からは以上です。

#### 1 教育長

質問がありましたら今お受けしたいと思うのですが、よろしいでしょうか。

#### 1 末浪委員

ツーリストシップなのですが、応募があったということですが、何校かというのは決まっているのですか。手を上げたところは全部受けられるという。

#### 1 まなび推進課長

手を上げたところは全部でございます。9校と思っていたのですが、手を上げたのが3校でしたので、その3校に実施させていただきます。

昨年は丹波市と山の辺の2校でした。本年度は柳本も手を上げましたので、昨年より1校希望が増えているという状態になります。

#### 1 末浪委員

分かりました。予算の関係で、3校とかしかできないのかなと思ひまして。昨年行ったところは、上級生が下のこども達に教えることも

少しはできるのかなど。そしてほかのところも、と思ったのですが。

## 1 まなび推進課長

そうですね、多数もしあればそういう形も今後取っていったらなと思います。既に行っている学校は、また下の子に教えていくという、その循環を学校の中で作っていったりしながら進めていけて、まだ実施していない学校を優先的に取り上げるという方法も考えていければと思います。

## 1 教育長

なかなか学校現場が忙しいことと、それと考え方を根本的に変えていってもらわないといけないのですよ。今までの教育がもう続かないと思ってもらわないと、だから、学校の年間計画があって、初めから4月に決めていたものを粛々とやっていくなんていうことは、もう時代に合わなくなっているのだということを、わかってもらわないといけない。子どもたちのための年間計画なのだから、そこにこだわる必要はない。そこにこだわって粛々と1年間、計画の上に乗っかってやっているだけじゃなくて、今回やっているみんなの学校プロジェクト、走りながら生み出していっているものはたくさんありますから、そこに臨機応変に乗っかってきてくれる学校に、全部の学校じゃなくていいので、全部の学校が乗っかってくるのを待っていたら、時間がいくらあっても足りないので、乗っかってくれる学校だけで実績を作っていこうと。そして、いいなと思ったら、うちの学校もやっぺいこうというような方法を取っています。やはり、企業が絡んでいるそういう事業は面白いのですよ。だからそういったものをどんどん取り入れていこうという。学校の教師が四苦八苦して作るオリジナルな体験

授業もいいけれども、それをしていたら働き方改革にならない。だからこそ、そういう豊かな体験や社会とつながる体験は、どんどん企業力を借りて導入していこう。そして学校は学校で、スリム化しながら授業に特化していこうということを狙っているというように思ってもらえたらいいなと思います。そうしたら、子どもたちも社会に目が向いて、社会に出て仕事したいとか、あんなふうな仕事したいなと思ってもらえたらいいなと思います。

#### 1 末浪委員

昨年見学させていただいて、非常によい内容でしたので、ほかのところも、と思ったときに、昨年受けたところから、こんな効果があったとか、何かそういうものを載せたりしているのかなと。それこそ学校運営協議会で来年これをするとか、何かそういったものを。受けていないところはもったいないなと思ったので。

#### 1 まなび推進課長

分かりました。もう少し広報の仕方も、そういった子どもたちの声も拾い上げながら、それを次の学校、やっていない学校にも周知できるような方法を工夫していきたいなと思います。

#### 1 教育長

ありがとうございます。教育委員さん、本当に昨年度からあちこちに出向いてくれて、よくいろんなものを一緒に考えてくれています。この前は、教育支援委員会に西畑委員と末浪委員が出てくださって、多分教育支援委員会に教育委員さんが出たというのは初めてで、前代未聞だなと思います。そこでレクチャーいただいたオンライン、ICTを使った教育支援委員会議にリニューアルしていこうと思って。全

部データ化してですね、集まってしないといけない会議が、もっとコンパクトに事前にオンラインでやり取りをして、スリム化していくという方法を取り合っ。私も携帯で、スマホでその話合いに参加できるのですよ。これは天理医師会の先生方も参加している会議なので、病院の先生も喜ばれると思うのですが、それを作っていただいたので、そこに顔を出していただいて、画期的な教育支援委員会だったなど。

#### 1 末浪委員

ものすごく感動しましたね。

#### 1 西畑委員

僕ら、ちょっとこういうふうにしてみたらどうですかってお話をしただけなのですが、もうここまで出来上がっているから、となっていて。頑張っしていただいたので、すごくうれしかったです。

#### 1 教育長

ありがとうございます。学校運営協議会も、末浪委員さん中心にいろいろ参加してくださって、やはり教育委員さんが運営として携わってもらっている、決定機関や評議委員ではないということが、よく私も実感できた事例だなと思っているのですけれど。行ったことを見てもらって、お墨つきをもらい、承認をしてもらうのではない。一緒に参加してもらって、一緒に運営を、決定をやってもらうという教育委員さんでいてくれるなと思って感謝をしています。

それでは、日程第2の議題に移りたいと思います。「議題第20号 天理市公民館運営審議会員の委嘱について（案）」の説明を、市民総活躍推進課からお願いします。



## 1 市民総活躍推進課

市民総活躍推進課から説明させていただきます。

先月、6月の定例教育委員会におきまして、議題第16号で16名の委員の委嘱についてご承認いただきましたが、その時点で選出が遅れておりました残りの2名のご審議をお願いいたします。

生涯学習推進員連絡協議会と芸能協会から候補者の選出がありました。

委嘱する委員の方は、藤田覚様、市生涯学習推進員連絡協議会からの再任となっております。藤田様は、櫛本校区の生涯学習推進員を務められておられる方で、積極的に生涯学習の活動にご尽力をされている方です。ご年齢が91歳とご高齢の方ではありますが、櫛本校区の生涯学習推進員を歴任くださり、校区の代表として生涯学習推進連絡協議会に多く代表として精力的に活動してくださっている方です。

太田富久子様は、市芸能協会からの選任の方となります。

太田様は、市芸能協会の理事長を務めておられ、また琴穂会に所属されており、琴の指導をされている方です。

いずれの方も、これまで公民館活動に深く関わっていただいているということで、各団体から推薦を受けており、今後の公民館運営について、多方面にわたりご意見をいただけるものと考えております。

なお、任期につきましては、2年任期で、令和7年7月13日までとなります。ご審議、よろしくをお願いいたします。

## 1 教育長

教育委員の皆様には、事前にオンラインで審議いただいていた案件ですが、改めまして、今の説明について何かご質問等ございますか。

よろしいですか。

ないようですので、「議題第20号 天理市公民館運営審議会委員の委嘱について（案）」を承認することといたします。

日程第2、議題は以上です。

続いて日程第3報告ですが、本日は特にありません。

これで定例教育委員会を閉会いたしますが、よろしいでしょうか。

ありがとうございました。

閉会 午後 3時37分